

エコラベルのついたものを選んでいきますか

市では令和3年に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ大野城」を宣言しました。

日本をはじめ国連の全ての加盟国が、住み続けられる地球にするため2030年までに目指す目標がSDGsです。SDGsには、具体的に17のゴールと169のターゲットが定められています。

そのゴールの一つに「ゴール12 つくる責任 つかう責任」があります。

製品をつくる企業や生産者は、地球を守る社会的責任として、環境に配慮された製品づくりに取り組んでいます。

環境に配慮された製品には、エコラベルがついています。その環境に配慮された製品を皆さんが選ぶことで、企業や生産者はさらに意識して、それらの製品を増やしていくという好循環が生まれます。この行動が、皆さんの「つかう責任」につながります。

エコラベルの一部を紹介します。



①エコマーク

製品（商品）ごとに、材料採取から廃棄・リサイクルまでの全体における環境への負担を基準化して、その基準を満たした製品に付いています。

例 ◇ビン◇トイレットペーパー◇消火器 など

②海のエコラベル（国際的基準）

水産資源と環境に配慮した漁業でとられた天然の水産物についています。

③ASC認証ラベル

環境と社会への影響を最小限にして育てられた養殖の水産物に付いています。

例 戸倉つこかき

東北三陸沖でのカキの養殖は、乱獲や東日本大震災時での壊滅的な打撃など、さまざまな問題に直面しました。震災後、カキ養殖業者は将来のことを考え話し合い、むやみな乱獲から資源を守るためにカキをブランド化することで商品価値を上げて、将来にわたって持続可能な養殖につなげています。

④環境共生住宅認定ラベル

環境共生住宅とは、地球環境を保全するため、省エネルギー、ごみの削減、地域環境や健康・快適・安全に配慮された住宅や住宅群を認定したものです。

⑤省エネラベル

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に定めた省エネ基準をどの程度達成しているかが、わかるラベルです。

省エネ基準を達成している製品には緑色、達成していない製品には橙色で表示されています。

例 ◇蛍光灯器具◇テレビ◇冷蔵庫◇ジャー炊飯器 など

⑥グリーン・エネルギー・マーク

一定割合以上のグリーン電力を使用していることを、消費者などが容易に認識できるようにするものです。製品、カタログなどに表示されています。

例 ◇ビール◇タオル など

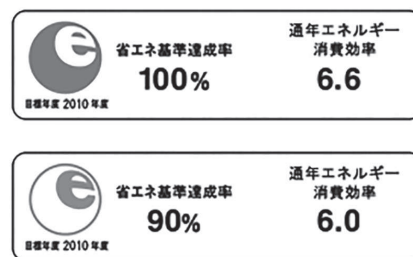
⑦統一省エネラベル

省エネ法に基づき、小売事業者が省エネ性能の評価や省エネラベルなどを統一して表示しています。

主に家電品の省エネ効果や⑤の省エネ基準の達成度、経済効果として年間のエネルギー料金を表示しています。

家電品の買い替え時に参考にしてみてください。

例 ◇エアコン◇テレビ◇冷蔵庫◇冷凍庫◇電気便座 など



省エネラベルの例